第３学年社会科学習指導案

日　時　平成 15 年６月 30 日（月）５校時
児　童　３年１組
　　男子 14 名　女子 19 名　計 33 名
場　所　３年１組　教室
授業者　佐　藤　純　子

1　単元名　　「見つめようわたしたちのまち」
　　1　まちたんけんをしよう

2　単元の目標

○自分たちの地域の特色ある地形・土地利用，主な公共施設、交通の様子などを調べる活動をとおし，地域の人々のくらしが自然環境や社会環境と深くかかわり合っていることを捉えさせ，地域社会の一員としての自覚をもつようにする。

○地域を具体的に観察・調査して絵地図や白地図に表現し，地域の特色を捉えるとともに，地域の公共施設を進んで利用し，地域社会にはたらきかけることができるようにする。

3　単元について

（1）教材について

本単元は，学習指導要領第３学年４学年の内容，２（1）「自分たちの住んでいる身近な地域や市（区，町，村）の特色ある地形，土地利用の様子，主な公共施設などの場所と働き，交通の様子などを観察，調査したり白地図にまとめたりして調べ，地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする」を受けたものである。

生活科からの接続・発展を考えて，自分たちの住む地域の探検活動をするなかで，自分たちのまちやそこで生活する人々，施設・設備などのかかわり気づくこと，自分たちの住むまちのよさに気づき，まちに対して愛着をもつことをねらいとしている。そのため，探検活動を重視した単元構成となっている。探検活動からの導入は，生活科の手法としても先行経験があり，子どもたちにとてもなじみやすく，探検・発見の期待や喜びがその後の活動を支える意欲になると考えられる。

（2）児童について

子どもたちは，初めての社会科にたいへん興味・関心をもっており，社会科の時間を楽しみにしている。昨年度までの生活科の関わりもあり，特に探検活動に対しての関心は高く，早く行ってみたい，調べてみたいと期待を大きくふくらませている児童がほとんどであった。

また，春の遠足では，金ヶ崎町内にある卸売業者やシューズ工場などを訪問し，そこで働く人の様子や仕事の内容などについて見学してきた。その際，児童は，それらの施設でどのようなことを知りたいか，見てきたいか課題をもって出かけ，分からないことについては質問をするという活動を行った。だが，まだ問題解決型の思考・判断的な学び方や技能・表現的な学び方についてはこれから学習を深めていかなければならない。

（3）学習の進め方について

本単元が初めての単元であるので，社会科の学び方をしっかりと身につけさせ，学習の基盤をつくりたい。

単元のつかむ段階では，方位磁針で四方位を確かめたうえで，町役場の展望台からまちの様子を観察し，学習プリントに建物や気になったものの名前を書き込む。さらに，見つけたものを絵カードに表し，方位を確かめながらグループ毎に模造紙に貼っていく活動をする。展望台からではよく見えなかったところ，もっと詳しく調べてみたいものはどのようにしたらよいかを話し合い，課題意識をもたせ，次の探検活動への意欲を高めさせたい。

調べる段階では，まずはじめに学校の西コースを探検する。探検で何をするのかをはっきりさせるため，土地利用・建物の様子・交通の様子など調べる視点を与え，全体で課題作りをする。探検では児童の実態を考え全員で同じコースを一緒に歩き，目印となる地点で意図的に足を止め周囲の様子を観察させることを通して，観察の仕方を身につけさせるとともに，ねらいに近づかせたい。探検後は，自分が発見したことを記した絵カードを白地図の上に置き，気づいたことを全体で話し合い，学校の西側の概観をつかませていきたいと考える。次に，東コース探検の計画へと進ませる。（本時）西コースは全体課題のみで進めたが，東コースから個人課題をプラスして問題解決型学習にせまりたい。その際，西コースの探検をして発見したことや気づいたことをもとに，東コースではどうなっているかという視点から課題を作り，西コースと比較しながら予想させていきたい。探検後は，学校の西側と東側の対比を意識させ，土地利用・建物の様子・交通の様子はどのようになっていたかを話し合い，学校の周辺の概観をつかませたい。

まとめる段階では，まち探検で発見したことやわかったことを個人でポスター，ミニ新聞などにまとめ発表し合う。お互いの発表のよい点を紹介し合う場面を設定し，今後の活動へ生かせるようにしたい。

ひろげる段階では，まち探検で調べてきたことをもとに，工夫しながらまちの絵地図をつくり，自分たちのまちについて気が付いたことや思ったことを発表させたい。そして，これまでの学習を生かして，自分たちのまちについて様々な視点から，さらに調べてみたいことを個人で追究させていきたい。

（4）仮説にかかわって

【仮説１】については，西コース探検計画を生かしながら，東コース探検の自分の課題を立て，問題解決型の学び方をしっかりと身につけさせ，学習の基盤づくりをしたい。

【仮説２】については，単位時間ごとの評価表を作成し，子ども一人一人の変容をとらえ，児童理解に努め，次時の学習の支援へと反映させたい。

4　単元の指導計画と評価規準

3年「1　見つめよう　わたしたちのまち」　　（本時１０時／全２３時間）

単元の評価規準	1．見つめよう　わたしたちのまち（２３時間）	【目標】 ・自分たちの地域の特色ある地形・土地利用、主な公共施設、交通の様子などを調べる活動を通し、地域の人々のくらしが、自然環境や社会環境と深くかかわり合っていることを捉えさせ、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。 ・地域を具体的に観察・調査して絵地図や白地図に表現し、地域の特色を捉えるとともに、地域の公共施設を進んで利用し、地域社会にはたらきかけることができるようにする。			
		関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	知識・理解
	目標	・学校の周りの様子について関心をもち、学区の地形や土地利用、交通の様子等について、進んで追究しようとする。	・学校の周りの様子について調べた結果をもとに、学校の周りの場所による様子の違いを、地形条件や社会的条件と関連付けながら考えることができる。	・学校の周りを観察して、学校の周りの様子について調べたり、様子を絵地図に工夫して表現したりすることができる。	・学校の周りの土地の高低、土地利用の様子や集落の分布、交通の様子など、学校の周りの特徴を理解することができる。
	評価規準	・学校の周りの地域の特色ある地形、土地利用の様子、おもな公共施設などの場所と働き、交通の様子などに関心をもち、意欲的に調べようとする。 ・自分が生活する身近な地域の特色やよさについて考えようとする。	・学校の周りの地域の様子について問題意識をもち、学習の見通しをもって追究・解決する。 ・調べたことをもとに、身近な地域の様子は場所によって違いがあることを考え、適切に判断する。	・学校の周りの地域の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子などを観察、調査して具体的に調べる。 ・観察や聞き取り調査などの結果を、おもな地図記号や四方位などを用いた簡単な絵地図や平面地図に表現する。	・身近な地域の様子の特色ある地形、土地利用の様子、おもな公共施設などの場所と働き、交通の様子などがわかる。

過程	単位時間ごとの計画（時）	目標	学習内容・活動	評価規準 判断基準（評価方法） 関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	知識・理解	支援計画 ◎十分満足できる子 △努力を要する子
	・オリエンテーション（1）	・まちの様子を紹介し合い，自分たちが住むまちについてもっと調べてみたいという意欲をもつことができる。	・自分たちのまちの様子について話し合う。 ・自分たちがよく行く場所や好きな場所を紹介し合う。 ・「まち探検」の方法や，これからの学習の進め方について話し合う。	・自分たちのまちについて話し合ったり，自分たちが住むまちについて調べたいという意欲をもつ。 ・身近な地域に関心をもち，様子や発展，興味を持ったりしたことを話し合う。				
つかむ	1，まちたんけんをしよう<15> ・問題を把握する（2）（3）	・高いところに上がり，東西南北の方位を知るとともに，各方面の目印となる建物や土地の様子などを，絵カードにかきすることができる。	・町役場の展望台に上がってまちの様子を観察して，気が付いたことを発表し合う。 ・自分が興味を引かれた目立つ建物や，気になるものを絵カードに表す。 ・方位磁針を使って東西南北の四方位を確かめ，自分の絵カードに四方位を書き込む。			・自分が気になる建物や景色を見つけて，絵カードにかき表すことができる。 ・気になる建物や景色を絵カードにかき表すことができる。（アウ）	・高いところから見たいろいろな景色の位置を，四方位を使って正しく表すことができる。 ・東西南北の四方位を確かめ，自分の絵カードに四方位を書き込むことができる。（アウ）	◎方位磁針で四方位を確かめ，どの方角に何があるかを自由に調べさせ，方位を使用する利点に気づかせる。 △方位磁針の使い方を指導し，絵カードに四方位を書き込めるように促す。

	・課題をつかむ （4） （5）	・大きな白地図に絵カードを位置づけ，まちの概観をとらえる。	・高いところに大きな白地図を置き，前時に描いた絵カードを並べる。 ・各方面の目印になる建物や施設，よくわからない場所や建物などを確認する。 ・もっと詳しく調べてみたい場所や施設について，グループごとに話し合う。		・まちには自分たちの知らない場所や建物があることに気づくことができる。 ・まだ自分たちの知らない場所や建物など，もっと詳しく調べてみたいところを考えることができる。（アイ）		・できた絵を学校を中心に並べ，それぞれの方位の概要をつかむことができる。 ・学校の周りを中心に四方位のまちの様子をつかむことができる。（アイ）	◎高いところから観察し，よくわからないところはさらに調べていかなければならないことに気づかせ，まち探検への意欲を高めさせる。 △白地図の使い方を指導し，まちの各方面の様子がよく分かるようにする。
	・調べる計画を立てる （6）	・まち探検のコースを話し合う。 ・まち探検や調べたい場所や施設を話し合う。 ・まち探検の計画をたてる。	・まち探検で調べたい場所や施設を話し合う。 ・学校の西側コースを探検することを話し合う。 ・まち探検の計画のとり方や安全のに関する約束ごとを決める。	・西側コースを探検してくること，意欲的に話し合う。 ・意欲的に調べ加えようと考える。（ア）			・探検するのに必要な持ち物や探検カードの書き方，約束事について捉えることができる。 ・探検するのに必要なことについて理解することができる。（アイ）	◎調べたいことの中から，探検する時どういった視点で調べてくればよいのかおおまかにつかめるよう促す。 △どのような点を探検すればよいか視点を与える。
調べる	・調べる （7～9）	・学校の西側を探検し，地形や土地利用，公共施設，交通の様子などについて気づいたことを探検カードに記録することができる。 ・西コースを探検して，気づいたことをまとめることができる。	・西コースの道順を確認し，まち探検に出発する。 ・気づいたことや発見したこと，疑問等を探検カードに書き込む。 ・白地図に探検カードを置き，学校の西側の大きな特徴をとらえる。	・楽しく探検しながら，自分なりの視点で，発見したり，疑問をもったりすることができる。 ・探検の約束を守り，西コースの探検で発見や疑問点を見つけようとする。（アウ）		・発見したこと，疑問点などを探検カードにメモできる。 ・発見したことや疑問に思ったことなどを絵や文で書きとめることができる。（アウ）		◎見慣れた景色の中からいろいろなことを自ら発見し，西コースの大きな特徴をつかみながら探検できるように促す。 △発見したことや，疑問点はどんなことかを細かな視点を与えて考えさせ，探検カードに記録するように支援する。
	・調べる計画を立てる （10） （本時）	・地形や土地利用，交通の様子などについて，西コース探検を生かしながら，東コース探検をするための計画をたてることができる。	・東側コースで調べたいことを考える。 ・自分の課題を発表し，分類する。 ・自分の課題の予想を立てる。		・西コースと比較しながら，課題や予想をたてることができる。 ・地形や土地，交通の様子などの観点から課題や予想を立てることができる。（イウ）			◎課題設定理由や予想の根拠を発表させ，西コースと比較して考えているよさに気づかせる。 △なかなか課題がみつけられない児童には，みんなの発表をもとに調べたいことを考えさせる。
	・調べる （11～13）	・学校の東側を探検して，地形や土地利用，公共施設，交通の様子な	・東側コースを探検して気づいたことや発見したこと，疑問等を	・楽しく探検しながら，自分なりの視点で，発見したり疑		・発見したことや気づいたこと，疑問に思ったこと		◎調べる視点をはっきりさせ，問題解決のために，進んで追求活動をさせたり，調査活動

		どについて，西側と比べながら，気がいたことをカードに検録することができる。 ・東コースを探検して，ところどころづいたことをまとめる。	探検カードに書き込む。	問を持ったりしながら，西コースとの違いを見つけようとする。 ・探検の約束を守り，発見したり疑問を持ったりしながら，西コースとの共通点や相違点を見つけようとする。 （アウ）		等を絵や文などで書き表す。 ・発見したことや気がつけたこと，疑問に思ったことや絵を書き表すことができる。 （アウ）		がスムーズに行えるようにリードさせたりする。 △調べる視点を持って調べ、調べて分かったことをカードに記録するように促す。
まとめる	・まとめる （14~17）	・調べたことをポスターにまとめ，発表会をしよう。 ・ここまでできたことを，楽しい発表会を行う。	・西東探検でつい，発表会に向けて，各自の発表内容を良い点や合い，活動の介後に生かす。		・調べてきたことを身近な地域を捉え，子ども様子によって違いを考えてる。 ・場所による様子の違いを考えることができる。 （イ）	・分かりやすくまとめて発表すると，聴者が発表者のよい点を見つけることができる。 ・それぞれの発表から，分かったことを他者の良いところを記録することができる。 （アウオ）		◎自分の発表を他者に分かりやすく行い，他者の発表の良い点をたくさん見つけるように促す。 △発表ができるよう，練習時間を十分に与え，自分の発表を練習通りに行う。他者の発表からそれぞれの内容を記録するように促す。
ひろげる	2．みんなでつくろう，まちの絵地図 〈5〉 （18 ～ 22） ・ひろげる	・調べたことをもとに，工夫した地図を分かりやすくまとめる。 ・まちの探検でつかまえたことを，自分たちの気づいたことを付箋に書き，発表する。	・調べたことをもとに，絵地図を作り上げる手段を話し合ったり，教科書を参考にして確認したりする。 ・絵地図作りの手段にそって，絵地図を仕上げる。	・絵地図作成の意欲を高めることができる。 ・絵地図の作り方のえ手段を考え，作業をしたりする。 （ア）		・絵地図の作り方や約束に従って，絵地図を仕上げることができる。 ・絵地図作りの手段にそって，絵地図をつくることができる。 （アウ）		◎絵地図にまとめることで地域の全体像をつかみ，立体的な具体物を記号化することによって記号化の利便性や必要性に気づく。 △決められた絵地図作りの手段にそって今まで学習したことを絵地図にまとめられるよう支援する。
			・完成した絵地図を見ながら，気が付いたことを発表する。 ・まちの様子や目印になる建物が工夫して表されているか，加筆や変更をくわえるところはないとか話し合う。 ・自分たちが考えたマークの他に，地図記号で表す方法もあることがわかる。		・自分たちのまちの特徴を捉えることができる。 ・完成した絵地図をもとに，自分たちのまちの特徴を話すことができる。 （アイウ）		・地図記号のマークと意味を理解する。 ・地図記号の意味を理解することができる。 （ウ）	◎完成した絵地図から自分たちのまちの特徴を読み取ることができ，さらに調べたいという意欲を持たせる。 △絵地図を読み取るためのポイントを与え，自分たちのまちの特徴がわかるようにする。
	「なんでも探検隊出発」	・これまでの学習を生かして，自分たちの住むまちに	・見学や発表会をもとにして，さらに調べてみたいことを個人	・自分が調べたいことを見つけ，進んで調べ				◎自分のテーマをもちより発展的に自分たちが住むまちの特徴を調べ

	〈1〉 ひろげる (23)	ついて様々な視点から調べ，発見をすることができる。	で研究する。 ・まちの中で気にかかることを積極的に調べていく。 ・発展的に調べたことをまとめたり，地図に付け加えたりしていく。	ようとすることができる。 ・まちの中で気にかかることを積極的に調べようとする。(ア)				るように促す。 △今までの学習を生かし，調べる視点を明確にさせる。

評価方法

項	評価の方法	評価の具体的な方法
ア	行動観察による評価	授業者または観察者のチェック表による評価
イ	発言分析による評価	子どもの発言回数，内容による評価
ウ	作品分析による評価	ポートフォリオ評価
エ	自己評価，相互評価	自己評価カード，アドバイスカード，コミュニケーション分析，感想文による評価
オ	表現の評価	発表会などの手法で発表される内容，方法などの評価

5　本時の指導

（1）目　標

地形や土地利用，交通の様子などについて，西コース探検を生かしながら，東コース探検をするための計画を立てることができる。

（2）展　開

過程	児童の活動	教師の支援	★評価規準 ☆判断基準	評価方法	備考
つかむ 5分	●西コース探検で，発見したこと・わかったことを発表し合う。	○西コースの探検をまとめた白地図をもとに，土地の使われ方，建物・交通の様子などはどうだったかを発表させ，前時をふり返らせる。 （支援の視点1）			・学校周辺の白地図 ・ワークシート ・ホワイトボード
	東コース　たんけん計画を立てよう！				
	●計画を立てる見通しをもつ。	○探検の計画を立てるための手順を確認する。 ・探検コースの確認。 ・調べたいこと（課題）を決める。 ・課題の予想を立てる。			
しらべる	●コースを確認する	○役場の展望台から見えた風景から，いくつかポイントになるものを示す。			・写真
	●調べたいことを考える。	○調べたいことの思考が広がるよう，考えたことをどんどん発表させた後，自分の課題を書く。 ◎課題設定理由を発表させる。 （H・S，M・S，J・K，O・K） △なかなか課題が見つけられない児童には，みんなの発表をもとに調べたいことを考えさせる。 （O・T，T・S，T・S，T・H） （支援の視点2，3）	★西コースと比較しながら，課題を立てることができる。 （思考・判断） ☆地形や土地利用，交通の様子などの観点から課題を立てることができる。	イウ	・ワークシート

まとめる 35分	●自分の課題を発表し，分類する。 ●自分の課題の予想を立てる。	○土地・建物の様子・交通の様子などに分類できることに気づかせる。 ○西コースと比べて予想を立てている児童を意図的に発表させ，比較して予想することのよさに気づかせる。 ◎自分の予想の根拠を発表させる。 （H・S，M・S，J・K，O・K） △役場の展望台からの様子や自分の生活経験を想起させ，予想を立てる手がかりとする。 （O・K，T・S，T・S，T・H） （支援の視点２，３）	★自分の課題の予想を立てることができる。 （思考・判断） ☆西コースと比較して類似点や相違点を指摘できる。	イ ウ	・ワークシート
ひろげる 5分	●学習をふりかえる。 ●次時の学習内容を知る。	○自己評価・反省をしながら，本時の学習をふりかえらせる。 ○本時で立てた計画に沿って探検を進めていくことを知らせる。			

支援の視点	教師と児童との関わり	支援のあり方
支援の視点１	全体への支援と教師の関わり	学ぶ対象との出会いの仕方，接し方を設定する。
支援の視点２	全体・個への支援と教師の関わり	学ぶために必要な調べ方などを教授，教示する。
支援の視点３	個への支援と教師の関わり	学ぶ対象との関わり方を助言，補助する。

6　板書計画

東コース

か　たんけんの計画を立てよう

〈計画のしかた〉

・たんけんコースのかくにん

・調べたいこと（かだい）を決める

・かだいのよそうを立てる

学校の東がわで知っていること

・町立図書館、役場がある

・大きなはし

・ビックハウス、アクセス

＜調べたいこと（かだい）を決める＞

土　地	たて物	交　通	そのた
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

＜よそうを立てる＞

・田が少ない
・店や家が多い

・店が多い
・だん地がある

・たくさん車が通っている
・電車が通っている